鳥羽商船高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	校外実習

科目基礎情報

科目番号	0095	科目区分	専門 / 選択
授業形態	実習	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	電子機械工学科	対象学年	4
開設期	通年	週時間数	0.5
教科書/教材			
担当教員	山下 晃司		

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	キャリアイメージをもとに，仕事とのマッチング	企業などにおける将来にわたるキャリアイメージを持てる	企業などにおける将来にわたるキャリアイメージを持てない
評価項目2	自身の能力を高めようとする姿勢をとる	自身の能力について考えることができる	自身の能力について考えることができない
評価項目3	企業あるいは技術者・研究者が持つべき仕事	企業あるいは技術者・研究者が持つべき仕事への責任の例を挙げることができる	企業あるいは技術者・研究者が持つべき仕事への責任の例を挙げることができない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	校外での実習を通して，技術者の実務，企業人として活躍するために自身に必要な能力，企業における社会的責任を実感する.
授業の進め方・方法	特別実習のしおりに従い，実習機関を選び，校外での5日から10日以上の実習を行い，実習終了後に報告書の提出と実習報告についての口頭発表を行う.
注意点	・実習期間中は実習先の関係者に敬意を払うとともに，礼節に気をつけること ・海外語学研修の場合は、事前に専攻主任に申し出て指示を受けること ・体調不良等により、やむを得ず休む場合には必ず実習先の実習責任者へ連絡すること ・実習後半において報告書を作成し、実習責任者の検印を受けること ・実習終了の最終日に実習先の実習責任者から特別実習評定書を受け取ること

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	実習	実習テーマによる
		2週	実習	実習テーマによる
		3週	実習	実習テーマによる
		4週	実習	実習テーマによる
		5週	実習	実習テーマによる
		6週	実習	実習テーマによる
		7週	実習	実習テーマによる
		8週	実習	実習テーマによる
	2ndQ	9週	実習	実習テーマによる
		10週	実習	実習テーマによる
		11週	実習	実習テーマによる
		12週	実習	実習テーマによる
		13週	実習	実習テーマによる
		14週	実習	実習テーマによる
		15週	発表会	
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

専門的能力	専門的能力の実質化	インターンシップ	インターンシップ	企業等における技術者の実務を理解できる。	4	
				企業人としての責任ある仕事の進め方を理解できる。	3	
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を総合的に判断することの重要性を理解できる。	4	
				企業における社会的責任を理解できる。	4	
				企業活動が国内外で他社(他者）とどのような関係性を持つかを理解できる。	4	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを理解できる。	4	
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができ、それを高めようと努力する姿勢をとることができる。	4	
				コミュニケーション能力や主体性等の「技術者が備えるべき能力」の必要性を理解できる。	4	
				実際の企業人等との仕事を通して自身のキャリアデザインを明確化することができる。	4	
				社会経験をふまえ、企業においても自分が成長していくことが必要であることを認識できる。	4	
				実務体験を企業や職種とのマッチングの場として考えて積極的な行動ができる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	40	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	30	0	40	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0